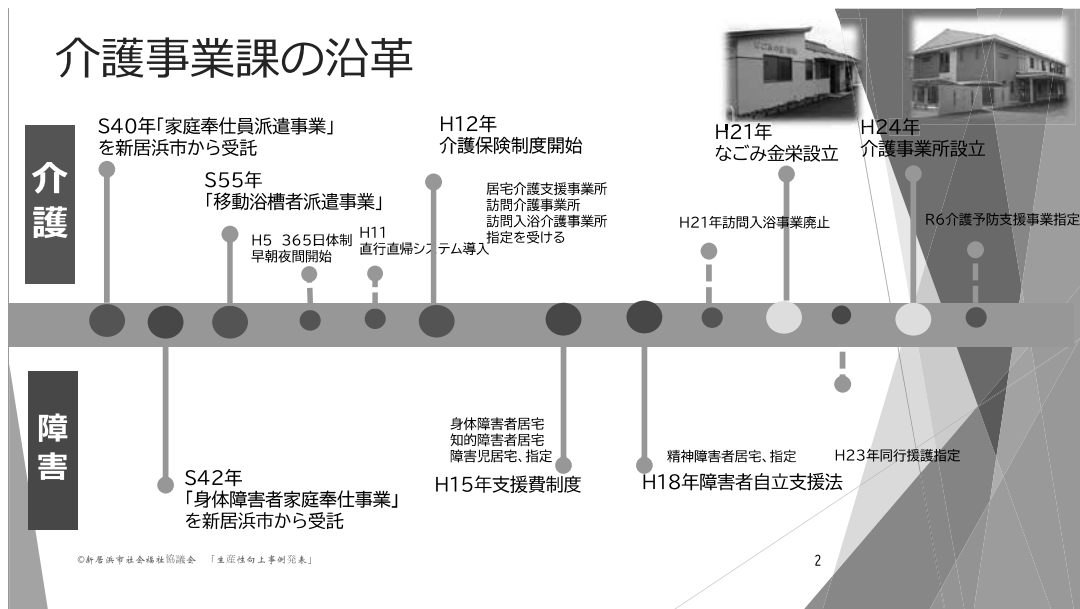




こころちゃん

基本理念

最高の笑顔をすべての人に

行動指針

～社協職員として大切にすること～

- ・笑顔であいさつします
- ・感謝の気持ちをことばにします
- ・人の想いに寄り添います
- ・努力する仲間を大切にします
- ・失敗をおそれずチャレンジします
- ・効率よく丁寧な仕事をします
- ・経営感覚を磨きます

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」

事業所及びサービスの種類 職員 81名

介護事業所(庄内町6-11-46)

- **居宅介護支援事業所**
居宅介護支援事業 ・ 介護予防支援事業 ・ 地域包括支援センター協力機関(金子・金栄)
- **訪問介護事業所、障害者居宅介護支援事業所**
訪問介護事業 ・ 指定相当訪問型サービス事業 ・ 障害者居宅介護支援事業
在宅サポート事業(介護保険適用外)
- **認知症対応型通所介護事業所 なごみの里「金子」**

認知症対応型通所介護事業所(高木町8-26)

- **認知症対応型通所介護事業所 なごみの里「金栄」**



©新居浜市社会福祉協議会 「生産性向上事例発表」

4

取組の経緯

- 経営状況や人材不足などの課題を抱えつつ、利用者様に満足していただけるサービス、事業継続を行うためには何が必要か？



- 介護労働安定センター主催の生産性向上研修会へ参加



- 目の前の課題解決を少しずつ行えば、全体が良くなるのでは？



- 各事業所管理者へ相談。「利用者様のためになら」ということで、生産性向上委員会を立ちあげる

©新居浜市社会福祉協議会 「生産性向上事例発表」

5

生産性向上委員会

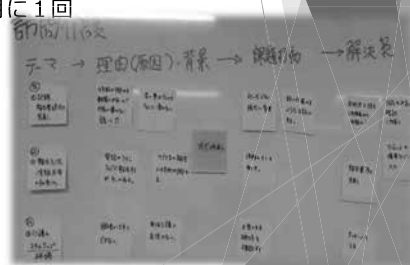
- 開始 令和5年7月～
- メンバー 7名
(アドバイザー、各事業所から1名、課長、事務2名)
- 開催日 令和5年度 月1回開催 令和6年度 2か月に1回



【活動の経過】

令和5年度

- 生産性向上研修受講
- 職場環境アンケート
- 課題の優先順位
- 課題の洗い出し→課題の把握→計画→実施→振り返り



©新居浜市社会福祉協議会 「生産性向上事例発表」

6

生産性向上委員会

【活動の経過】

令和6年度

- 情報共有の効率化を各事業所で取組む
- 課題の優先順位
- 課題の洗出し→課題の把握→計画→実施→振り返り
- ICT化への取組 指導により補助金の交付申請を行う
訪問介護事業所・居宅介護支援事業所



【訪問介護事業所】

- ・タブレット端末やスマホからの介護記録の入力
記録から請求までの一気通貫システム管理を可能にする

【居宅介護支援事業所】

- ・携帯可能なノートパソコンの導入
記録業務の短縮、移動時間のロス軽減、職員の負担軽減



7

取組前の問題点と取組後の成果

1. 居宅介護支援事業所

【取組前】

- ① 24時間電話の対応や病院の休診日の変更などが職員間での情報共有ができず、対応が遅れる
- ② 事業所への書類配布に時間がかかる
- ③ 報告書などの入力に時間がかかる



8

取組前の問題点と取組後の成果

1. 居宅介護支援事業所

【取組後】

- ① LINEWORKSや伝達事項連絡ノートで、情報共有
- ② 可能な事業所については書類をメールで配布
- ③ Google keepアプリを活用し、画像からテキスト化し
PCに同期化させ、入力作業を効率化
持出可能なPCにより、出先で計画や変更を入力可能に！



small step!!



取組前の問題点と取組後の成果 2. 訪問介護事業所

【取組前】

- ① 毎月の現況報告入力に時間がかかる
- ② 介護記録、行先表等を手書きしてから、システムへ転記しているため手間がかかる
- ③ 急な行先変更や記入漏れにより、確認作業に時間と手間がかかる

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」



10

取組前の問題点と取組後の成果 2. 訪問介護事業所

【取組後】

- ① 報告書様式を見直し、時間短縮。
- ②、③ 補助金により、介護記録ソフトを導入。
紙からスマートフォン等からの入力へ。



記録から請求までの一気通貫システム連携が可能に！時間短縮及び情報共有がスムーズに！

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」



表1: データ入力様式

項目	入力	確認	入力	確認	入力	確認
利用者氏名	〇	〇	〇	〇	〇	〇
介護記録	〇	〇	〇	〇	〇	〇
行先表	〇	〇	〇	〇	〇	〇
報告書	〇	〇	〇	〇	〇	〇
その他	〇	〇	〇	〇	〇	〇

11



取組前の問題点と取組後の成果 3. 認知症対応型通所介護事業所

【取組前】

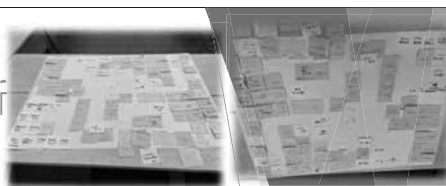
- ① 新しい職員やシフトで休みの職員への情報共有が上手くいっていない
- ② 記録の内容を転記したり、現況報告書に時間がかかる
- ③ 役割分担が曖昧で仕事量に差がある
- ④ 職員がスキルアップのための研修参加に消極的

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」

12

取組前の問題点と取組後の成果

3. 認知症対応型通所介護事業所



【取組後】

- ① 回覧板方式にし、職員全員が確認できるように
介助方法は一緒にしたり助言を何度も行った
- ② 機能訓練日誌の様式を見直しや、重複記入をなくした
- ③ 皆で仕事のマッピングをし、役割分担が明確化
- ④ 研修を業務目標に沿って選び、研修届も自分で申請、
承認をて、徐々に意識があがっている

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」

13

今後の方向性（各事業所）

1. 居宅介護支援事業所

- ICTスキルの底上げ

2. 訪問介護事業所

- ICTの円滑な運用（記録業務及び予定・実績）

3. 認知症対応型通所介護事業所

- 動画マニュアル化による、サービスの統一化

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」

14

今後の方向性（全体）

【事業所全体】

- 情報共有ツールの導入
- 職員のICTスキルアップのため、習熟度別教育プログラム作成
- 継続するためには、職員の意識が大切。方向性を伝え、職員が同じ
方向に向かっていけるような職場環境づくりを行う

©新居浜市社会福祉協議会 「生涯性向上事例発表」

15

まとめ

★スモールステップを積み重ねていくことで、
職員の意識が変わる

★利用者様へのサービスにつながる意識が職
員の原動力となる

©新居浜市社会福祉協議会 「生産性向上事例発表」

16

ご清聴ありがとうございました

©新居浜市社会福祉協議会 「生産性向上事例発表」

17